

I 情報収集提供業務

情報収集提供業務に関しては、主要な畜産物、野菜、砂糖及びその原料作物並びにでん粉及びその原料作物の生産及び流通に関する情報について、収集、整理及び提供を行っている。平成24年度においては、当機構業務の中心である農畜産物の生産者の経営安定対策、農畜産物の需給調整・価格安定に関連したテーマを中心に、農政上の重要課題である農畜産業の6次産業化、担い手の確保等に向けた取組と合わせて調査テーマを定め、これらの分野に重点化して業務を実施した。

1 情報の収集

(1) 国内

価格・需給データ、需給関連の調査分析報告、優良事例及び地域情報等について、機構職員や専門調査員により収集・整理・分析した。

(2) 海外

機構職員による価格・需給データ、需給関連の調査分析報告、優良事例等の調査、国際会議等への参加に加え、コンサルタントの活用等により収集・整理・分析した。

2 情報の提供

(1) 定期刊行物による提供

「畜産の情報」、「野菜情報」、「砂糖類・でん粉情報」の発行による提供を行った。

(2) ホームページによる提供

定期刊行物に掲載されているものに加えて、年報「畜産」、「畜産物市況週報・市況速報」、「地域だより」、「国際情報コーナー」のトピックス及び「国内統計資料」、「海外統計資料」への掲載による提供を行った。

(3) メールマガジンによる提供

メールマガジンにより、各情報誌の発行情報、海外情報、alicセミナー開催情報等の迅速な提供を行った。

(4) alicセミナー・地域情報交換会等による提供

本部・地方事務所により情報提供の場を設けて、生産、流通、消費、制度等に係る課題・取組等の情報のほか、海外現地調査等により収集した各種の情報について、利用者のニーズに応じた情報提供を行った。

3 主要な提供テーマ

(1) 畜産

- ・養豚経営の現場でみられる飼料コスト低減への動き～エコフィードの取組を中心に～
- ・肉用子牛の価格形成～牛肉自由化以降は外部要因を大きく反映～
- ・宮崎県における口蹄疫からの復興～全共での日本一2連覇までの取り組み～
- ・酪農経営の担い手をどう確保するか～「日本型第三者酪農経営移譲システム」を考える～

- ・飼料用米を活用した畜産経営の展開と地域活性化～大分県の鈴木養鶏場と高田牧場を事例として～
- ・フランスの酪農事情～2013年CAP改革および2015年クオータ廃止に向けて～
- ・ベトナム畜産事情～養豚と酪農の現状課題について～
- ・ブラジルのトウモロコシ生産の現状～南部パラナ州を中心に～
- ・米国を襲った干ばつへの畜産の対応～干ばつの影響と米国における畜産の動向～
- ・ニュージーランドの家畜個体識別制度

(2) 野菜

- ・実需者のニーズに即した冷凍加工向け国産野菜の取り組み～JA東神楽加工・業務用野菜サプライチェーングループの事例紹介～
- ・企業の農業参入、どうすれば軌道に乗るか？～福井県の坂井北部丘陵地への参入企業の事例から探る～
- ・耕作放棄地を活用したコスト低減への取り組みと今後の課題～鳥取県米子市の岡野農場の事例分析～
- ・野菜を中心とした6次産業化と輸出による農業ビジネス企業体の育成～熊本県の2事例の分析からみた今後の課題～
- ・中国における野菜生産・輸出の動向～冬春野菜産地の動き～
- ・米国の野菜産業を支える流通プログラムと分業化が進む野菜生産現場
- ・タイにおける野菜採種の概況

(3) 砂糖

- ・てん菜副産物の有効利用
- ・さとうきびの省力化栽培技術～ハーベスタ採苗とビレットプランタの利用～
- ・徳之島におけるさとうきび生産者の意識と行動把握の必要性和現状～アンケート調査より～
- ・白い砂糖の真実、そして三温糖との関係
- ・米国におけるさとうきび生産事情～ルイジアナ州におけるメイチュウ類防除への取り組み～
- ・ブラジルの砂糖・エタノール産業を巡る状況～2011/12年度の減産と最近の問題について
- ・フィリピンの砂糖事情～AFTAによる関税引き下げに向けての生産性向上対策～

(4) でん粉

- ・ばれいしょでん粉品質改良の取り組み
- ・新しいかんしょでん粉の特徴と食品への利用
- ・地域連携によるでん粉の用途拡大～低カロリー食品への利用～
- ・EUのでん粉事情
- ・インドネシアのでん粉事情
- ・タイのでん粉事情～害虫抑制によるキャッサバ収益性の回復と最近のでん粉需給・政策動向～